

「Team MINAMI」×「Team 大川」 広島皆実高等学校 「未来を拓く」ための防災学習会 ～震災遺構旧大川小学校の被災体験に学ぶ～

- 1 日時 令和5年7月4日(火)11時20分～12時50分
- 2 場所 広島皆実高等学校・1Fセミナールーム
- 3 講師 ただの てつや
只野 哲也さん
(Team大川・未来を拓くネットワーク代表)
- 4 内容 震災前の大川小、震災直後の大川小、
「未来を拓く」ために私たちにできること
- 5 参加者 広島皆実高等学校生徒（希望者）及び教職員
○生徒会執行部（平和学習「語りつぐヒロシマ」運営）
○衛生看護科の生徒（災害看護を学ぶ生徒）
○普通科の生徒（昨夏、Team大川が実施した
「おかえりプロジェクト」に参加した生徒）



語りべ活動をする只野さん



東日本大震災で、児童・教職員あわせて84名が津波の犠牲となった宮城県石巻市の旧大川小学校。当時小学5年生だった只野哲也さんは、津波に押し流されながら奇跡的に裏山の中腹に打ち上げられ助かりました。只野さんは同じ小学校に通っていた妹、母親、祖父、家族3人を津波で亡くされています。

2021年、広島を訪問した只野さんは、被爆者・寺前妙子さんから直接被爆体験を聞かれ、自分と同じように妹（広島県立広島高等女学校に通学）を亡くされた寺前さんの言葉の力に感銘を受け、当事者である「自分にしかできないことがある」と考えられました。そして、新たに「Team 大川・未来を拓くネットワーク」を設立して活動を再開し、現在は震災遺構旧大川小学校の伝承活動に取り組んでおられます。

広島皆実高等学校の前身である広島県立広島高等女学校は、原爆により301名の生徒と教職員が犠牲となっています。戦災と震災という違いはありますが、共有できる思いもあるはずです。「Team MINAMI」と「Team大川」とのふれあいをとおして、多くの気づき、学びがあることを願っています。